

水鳥記伝承会

すいちょうかぶき ゆうらくいち
水鳥伽舞酒と遊樂市



令和8年5月31日(日)

午前11時開演 (午前10時30分開場)

場内御免札(入場料) 1500円

川崎大師平間寺信徒会館地下1階

【番組】

- 一、口上
- 一、日本舞踊
- 一、くいず出題
回答者全員賞品あり
- 一、水鳥記芝居
- 一、酒飲み合戦
- 一、くいず回答
- 一、遊樂市開催

場内御免札で
日本酒・助六寿司
田楽・もう一品・抹茶
を召し上がれます
宝引き(空くじ無し)



【水鳥記】



慶安二年(1649)5月大師河原の名主
池上太郎右衛門幸広(大蛇丸底深)と
その一族14名が江戸の医者で儒学者の
茨木春朔(地黄坊樽次)とその仲間16名
との間で行った壮烈な酒飲み合戦の物語。

池言坊(川崎市史跡)⇒池上一族一門の墓所
(川崎区大師駅前2-1-2)

水鳥記⇒京都本が川崎市民ミュージアムに收藏

水鳥記絵巻⇒川崎大師平間寺に收藏

